



AS AIR SUS controller

ADVANCING ELECTRIC TECHNOLOGY WILL NEVER SET A LIMIT ON OUR DREAM.
Data System MAKES YOUR DREAM COME TRUE.
WE PRODUCE THE HIGHEST QUALITY OUT OF THE ADVANCED ELECTRIC TECHNOLOGY.

e-parts™

レクサスLS500/500h専用エアサスコントローラー

ASC683L

取扱説明書



▲ 製品をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みください

▲ 警告 製品をご使用になる前に、本取扱説明書に記載の「ご使用になる前に」を必ずお読み頂き、内容を承諾頂けた場合のみご使用ください。本体を梱包しているビニール袋を開封した時点で、内容を許諾したとみなします。また他の方に譲渡した場合においても承諾は継続されます。

目次／パーツリスト

目次

目次／パーツリスト	1
本製品の機能／特長	2
ご使用になる前に(必ずお読みください)	3～4
各部の名称	5
使用上の注意	7
アフターサービス／メーカー保証について	8
初期設定	
本製品を車高設定可能状態にする	9～10
車高モード設定	11
車高モードの切り替え	12
車高設定方法	13～14
エアサスコントローラーのオン／オフ	15～16
エアサスコントローラーのリセット方法	17
エアサスコントローラー本体の取り外し	18
故障かな?と思ったら	19～20

パーツリスト

<input type="checkbox"/> ASC683L本体	1個
<input type="checkbox"/> 専用接続ハーネス	1個
<input type="checkbox"/> ショートコネクター	1個
<input type="checkbox"/> マジックテープ(固定用)	1セット
<input type="checkbox"/> 取扱説明書(本書)	1冊
<input type="checkbox"/> 取付説明書	1枚
<input type="checkbox"/> 保証書／ユーザー保証登録カード	1枚

本製品の取り扱いの流れについて

- ①本書に記載されている注意事項(「ご使用になる前に」3～4ページ)を必ず全てお読みください。
- ②本製品を車両に取り付けます。取付説明書(取り付け時の注意)も必ずお読みください。
- ③**ご使用になる前に必ず設定をおこなってください。**
- ④各機能について本書をよくお読みになり、ご理解の上ご使用ください。

本製品の機能／特長

機能

●車高設定機能

最大7段階車高設定が可能です。

●左右バランス調整可能（フロントのみ）

前輪左右の車高を独立で設定できますので、左右バランスを調整することが可能です。

●マイコン制御ならではの安全機能を搭載

高速走行時に自動的に車高が下がる純正機能を監視し、高速走行時の下がりすぎを防止します。

本製品はレクサスLS500/LS500 h専用モデルです

LS500 平成29年12月～ VXFA50・55

LS500H 平成29年10月～ GVF50・55 (2023年2月現在)

ご使用になる前に (必ずお読みください)

注意事項の定義

ご使用前に、この「ご使用になる前に」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。内容をご理解いただけない場合は、直ちに取り付け、ご使用を中止してください。

⚠ 危険 守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの。

⚠ 警告 守らないと法律に違反する恐れがあるもの。

⚠ 注意 守らないと車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの。

⚠ 重要 本製品を使用する上で知っていただきたいもの。

⚠ 危険 予防安全機能について (LEXUS SAFETY SYSTEM+ /LEXUS SAFETY SYSTEM+A搭載車)

車高を変化させた状態で走行すると、システムが車両状態を正確に把握できなくなり、**下記の予防安全機能が正常に動作しない可能性があります**。※スライドスイッチを「NORMAL」に切り替えるか、またはエアサスコントローラーをオフに設定すれば正常動作します。

- プリクラッシュセーフティ
- レーダークルーズコントロール
- 先行車発進告知機能

- レーントレーシングアシスト
- オートマチックハイビーム
- レーンチェンジアシスト
- アダプティブハイビームシステム

※各機能の詳細はディーラーなどでご確認ください。

⚠ 危険

- 車高を変化させた状態での走行は大変危険ですので、必ずノーマル車高に戻してから走行してください。
- 走行する際は、必ずスライドスイッチを「NORMAL」に切り替えるか、または本製品をオフに設定してください。車高を変化させた状態での走行は、アライメント変化などからタイヤの異常磨耗やトラクション不足、ハンドリング異常などを引き起こし、また、乗り心地悪化の原因となります。
- 車高選択スイッチ  操作で車高を上げた状態 ( 点灯) での車高設定はおこなわないでください。



警告

- 車高を下げた状態で公道を走行すると違法となる場合があります。
- 本製品を使用して発生した違法行為・安全義務違反による罰金・減点のほか、性能劣化、車両破損、車両故障などに関しての責任は一切負いません。



注意

- 本製品の使用中、またはイグニッションスイッチオフ後 6 分間は本体および専用ハーネスを外さないでください。外すと本製品および車両のエアサスコンピューター故障の原因となります。
- 本製品は車高センサーを故意に調整して車高を変化させたり、サスペンションシステムの改造・加工等をおこなったりしている車両には適合しません。
- 車高を変化させた状態では絶対に走行しないでください。車高を変化させた状態で走行すると、サスペンションに負担がかりサスペンション破損の原因となります。また、ボディ（スポイラー等）と地面・輪止め等の接触による車両の破損、損傷または事故の恐れがあります。
- 本製品はノーマル車両をベースに設計されています。純正または純正と同サイズのタイヤ・ホイール以外のインチアップホイール、ワイドタイヤ装着車、またはスペーサーによるワイドトレッド化された車両には本製品を絶対に使用しないでください。タイヤと車体（フェンダー・サスペンション等）の接触による車両の破損、損傷または事故の恐れがあります。



重要

- 本製品は車高を変化させた状態での走行を目的として開発されたものではありません。
- エアサスコントローラーがオンのときは「乗降モード」は Off 設定となり、乗降モード機能及び駐車時車高選択機能は動作しません。
- 本製品を使用したことによるエアサスペンションシステムに関連するすべて（サスペンション本体・コンプレッサー・車高センサー・サスペンション CPU 等）の故障・損傷・破損および車体（ボディ・エアロパーツ・タイヤ・ホイール・マフラー等）の故障・損傷・破損において当社では一切の責任を負いません。
- 車高の設定値の大小にかかわらず、車両個々の状態・エアロパーツや社外マフラー・インチアップホイールの装備状況などによっては保安基準内の最低地上高を確保できない場合があります。
- 車両側に異常がある場合、本製品が正常に作動しない場合があります。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損等の責任は一切負いません。
- 本製品に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと、保証期間に関わらず保証対象外となります。
- 車両の取扱説明書の「電子制御エアサスペンション」「ユーザーカスタマイズ機能」もお読みください。
- 海外仕様モデルに関するサポートは一切行っていません。

各部の名称

本体

スライドスイッチ

NORMAL：ノーマル状態

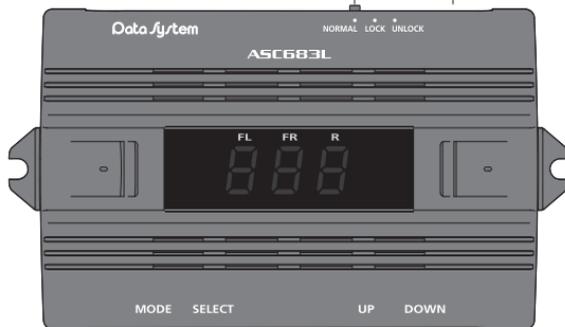
UNLOCK：本体スイッチ操作の有効

LOCK：本体スイッチ操作の無効

※スライドスイッチ及び各スイッチの操作は
エンジン始動後におこなってください。

オプション接続コネクター

使用しません。



MODE スイッチ

モード切り替え時などに使用します。

DOWN スイッチ

設定を切り替える際などに使用します。

SELECT スイッチ

車高設定時などに使用します。

UP スイッチ

設定を切り替える際などに使用します。

使用上の注意

❗ 重要

車高変更の動作について

- トランクが開いていると車高は変化しません。本製品での車高変化動作は「全ドアが閉じている時」、または「運転席のドアのみが開いている時」にのみ作動します。
- ブレーキを踏んでいると車高は変化しません。また、車高変化中にブレーキを踏んだ場合も車高変化動作は停止します。
- 車両の停止状態により車高の変化動作が抑制されてしまう場合があります。そのときは少し走行した後に車高が変化しているか確認してください。
- 車両機能の車高調整を停止させるには、マルチインフォメーションフォメーションの車高制御を「Off」に設定してください。「Off」設定時の車高が保持されます。
この設定は、「車両の速度が30km/h以上になった時」または「一度エンジン停止した後の再始動時」には解除され「On」に戻ります。

高速走行時の制御について

純正車両装備の機能の制御により、高速走行時に約20mm車高が下がります。

本製品で車高を下げた状態でもこの純正機能は働きます。

よって、走行する際は必ず本製品をオフに設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行を開始してください。

本製品をオンのまま走行した場合、速度90km/h以上になると車高を上昇※させる制御が働きます。この制御は速度50km/h以下になると解除され、設定されている車高に戻ります。

但し、この制御によって100%の安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や路面状態の変化、乗車状態、車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がる場合もあります。

※「STd」設定時はノーマル車高に戻ります。

「SPL」設定時は3段階車高を上昇させます。

この制御によってノーマル車高よりも車高が上昇することはありません。

アフターサービス／メーカー保証について

アフターサービスについて

製品に関してのご相談は当社サービス課までお問い合わせください。

- 製品の調子が悪いとき（19～20ページ「故障かな？と思ったら」を参考に一度お調べください）。
- 製品を破損、損傷してしまった場合
- 製品の性能、機能に関してのご質問

メーカー保証について

付属の保証書に必要な事項を全てご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。

保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。

※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。

※保証規定は保証書を参照してください。

※保証書は如何なる理由があっても再発行致しませんので、あらかじめご了承ください。

本製品に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

ユーザー登録のお願い

製品に同梱の「ユーザー保証登録カード」に必要な事項を全てご記入頂き返送いただくか、インターネット上にて登録をおこなってください。

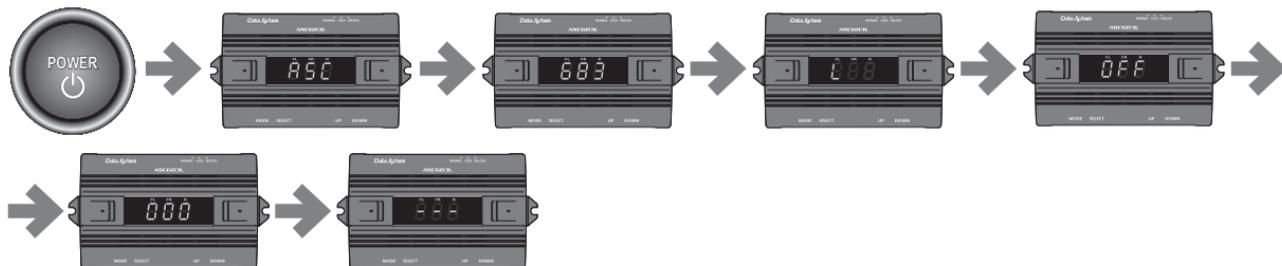
URL:<https://www.datasystem.co.jp/>

本製品を車高設定可能状態にする

❗ **重要** 設定作業の前に、車両が平坦な位置で周囲に障害物のないこと、車両に輪止めをかけていることを確認してください。

1. エンジンを始動する。

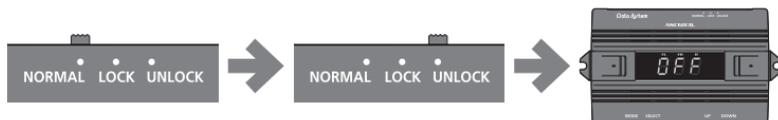
本製品の表示部にオープニング表示をおこないます。



POINT ●トランクを開けた状態でエンジンを始動してください。
本製品のスライドスイッチが「LOCK」または「UNLOCK」のときは、最後の表示が「OFF」になります。

2. 本製品のスライドスイッチを「LOCK」位置または「UNLOCK」位置にする。

本製品の表示部が「OFF」に切り替わります。



3. トランクを閉じる。

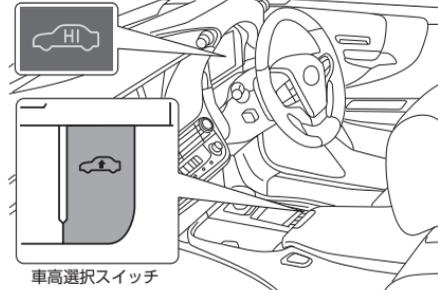
4. 本製品をオンにする。

車内のシフトパネルにある車高スイッチを 10 秒以上押し続けると本製品がオンになります。
システムの動作状態によっては、メーターパネルのHIGHモード表示灯が点滅する場合と点滅しない場合があります。
操作後に本製品がオン状態の表示に切り替わっているかを必ず目視で確認してください。

HIGHモード表示灯および車高選択スイッチ位置

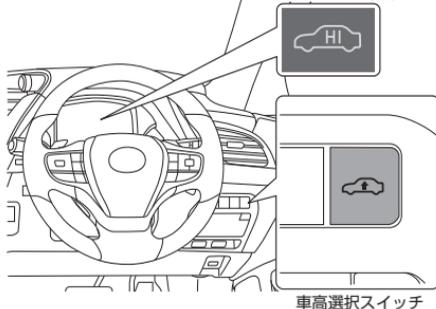
H29.10～R4.9

HIGHモード表示灯



R4.10～

HIGHモード表示灯



オン状態の表示



車高設定後は設定されている数値が表示されます。



重要

トランクおよび運転席以外のドアが開いているときは本製品をオンにできません。操作の際は必ず運転席以外のドアをすべて閉めた状態でおこなってください。

初期設定の続き

車高モード設定

「STd」モード/「SPL」モードの説明

STdモード		車高設定範囲	
車高設定値	車高設定範囲		
0	NORMAL		
1	LOW	↕	
2			
3			

SPLモード		車高設定範囲	
車高設定値	車高設定範囲		
0	NORMAL		
1	LOW	↕	
2			
3			
4			
5			
6			
7			

※「STd」モードは停車状態で保安基準で定められた最低地上高を保ちます。

POINT

●工場出荷時は「STdモード」になっています。

車高モードの切り替え

「STd」モードから「SPL」モードへの切り替え方法

「MODE」スイッチを押しながら「DOWN」スイッチを押して「SPL」を表示し、「SELECT」スイッチを押して決定します。



「SPL」モードから「STd」モードへの切り替え方法

「MODE」スイッチを押しながら「UP」スイッチを押して「STd」を表示し、「SELECT」スイッチを押して決定します。



POINT

- エンジンを始動し、シフトポジション「P」の状態でおこなってください。
- 製品取付け後、最初の電源投入時の初期設定は「STd」モードになっています。
- 決定操作をおこなわないと、5秒後に切り替え操作前の設定に戻ります。
- スライドスイッチは「UNLOCK」位置にしてください。「LOCK」位置では操作できません。
- 車高モードは後から変更することも可能です。

車高設定方法

！ 警告 車高を変化させるときは周囲の安全を確認してからおこなってください。
車高の上昇、下降を繰り返すと、車高制御の保護機能が働き、車両のシステムが一時的に作動しなくなることがあります。

- **SELECT** スイッチを押すごとに点滅箇所が以下のように切り替わります。
「4 輪すべて」→「フロント左」→「フロント右」→「リア」→設定決定→「4 輪すべて」→・・・
- 点滅している箇所の設定値が変更できます。設定は「**UP**」スイッチまたは「**DOWN**」スイッチでおこないます。

4 輪すべての設定を変更する

「**SELECT**」スイッチを 1 回押してすべての数値を点滅させ、「**UP**」または「**DOWN**」スイッチで設定値を変更します。設定値を合わせた後、「**MODE**」スイッチを押して決定します。



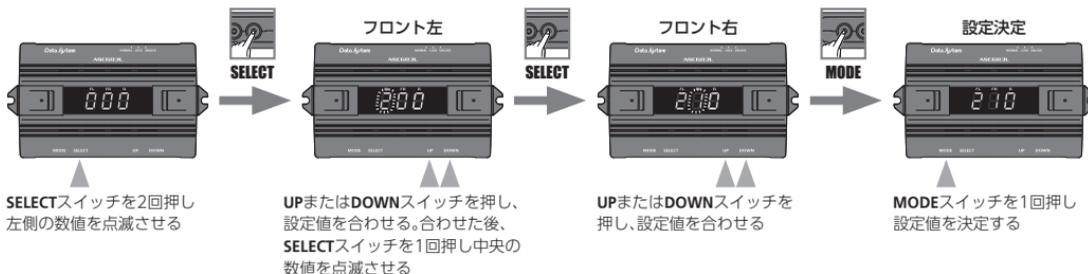
- 車高設定終了後はスライドスイッチを「**LOCK**」位置にしてください。スライドスイッチ位置：**LOCK**
不意なスイッチ操作での設定変更などを防止します。



- いずれかが点滅しているときに「**MODE**」スイッチを押すと、設定値が決定されます。
- スイッチを操作しない状態で 5 秒経過すると、変更した設定値が反映されずに設定が終了します。

フロント左右の設定値を変更する

「SELECT」スイッチを2回押しして左側の数値を点滅させ、「UP」または「DOWN」スイッチで設定値を変更します。再度「SELECT」スイッチを押して中央の数値を点滅させ、「UP」または「DOWN」スイッチで設定値を変更します。設定値を合わせた後、「MODE」スイッチを押して決定します。



リアの設定値を変更する

「SELECT」スイッチを4回押しして右側の数値を点滅させ、「UP」または「DOWN」スイッチで設定値を変更します。設定値を合わせた後、「MODE」スイッチを押して決定します。



※リアの車高設定は左右独立して設定変更できません。

エアサスコントローラーのオン／オフ

⚠ 警告 本製品や車高選択スイッチ操作で車高を変化させるときは車両の停車位置、停車状態、車両周辺を十分に安全を確認してください。車高の上昇、下降を繰り返すと、車高制御の保護機能が働き、車両のシステムが一時的に作動しなくなることがあります。

●エンジンを始動し、シフトレバーをPの位置にしておこなってください。

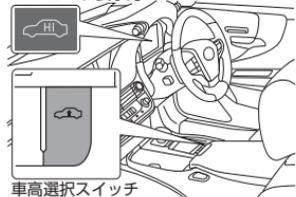
本製品をオフ（ノーマル車高に戻す）

車高選択スイッチで設定する場合

⚠ 重要 トランクおよび運転席以外のドアを閉めてから車高選択スイッチの操作をおこなってください。

H29.10～R4.9

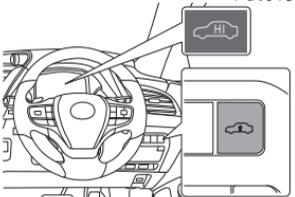
HIGHモード表示灯



車高選択スイッチ

R4.10～

HIGHモード表示灯



車高選択スイッチ

- 車高選択スイッチ  を5秒以上押し続けます（車両側のHIGHモード表示灯  が1回から数回点滅する場合があります）。
- 車高がノーマル状態に戻ります。本体の表示は「OFF」になります。

オフ設定後の表示



本製品で設定する場合

スライドスイッチを「**NORMAL**」位置にします。
トランクを閉じるとノーマル車高に戻ります。

POINT



スライドスイッチ位置：NORMAL



オフ設定後の表示



- 車高制御の設定がOffになっていると、ノーマル車高には戻りません。先にマルチインフォメーションディスプレイで車高制御をOnに切り替えてから車高選択スイッチの操作をおこなってください。車高制御設定の確認については、車両取扱説明書を参照してください。

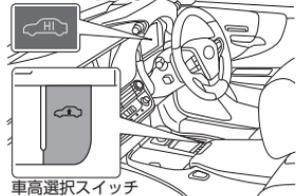
本製品をオン（設定車高にする）

車高選択スイッチで設定する場合

- ！重要**
- 本体のスライドスイッチが「NORMAL」位置の時は操作できません。
 - トランクおよび運転席以外のドアを閉じてから車高選択スイッチの操作を行ってください。

H29.10～R4.9

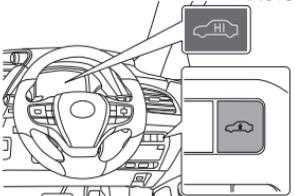
HIGHモード表示灯



車高選択スイッチ

R4.10～

HIGHモード表示灯



車高選択スイッチ

- 車高選択スイッチ  を10秒以上押し続けます（車両側のHIGHモード表示灯  が1回から数回点滅する場合があります）。
- トランクを閉じると本製品で設定した車高に変化します。

オン設定後の表示



例：本製品をオフにする前、フロント左を2、フロント右を3、リアを1に設定していた場合

本製品で設定する場合

POINT

スライドスイッチを「LOCK」もしくは「UNLOCK」位置にします。
トランクを閉じると本製品で設定した車高に変化します。

スライドスイッチを「NORMAL」セット前に車高制御がOFFだった場合には、トランクを閉めてから車高選択スイッチを10秒以上押ししてください

スライドスイッチ位置：LOCK



スライドスイッチ位置：UNLOCK



エアサスコントローラーのリセット方法

正常に動作しないときや工場出荷状態に戻りたいときなどに限りリセットをおこなってください。

1. スライドスイッチを「UNLOCK」位置にする

スライドスイッチ位置：UNLOCK

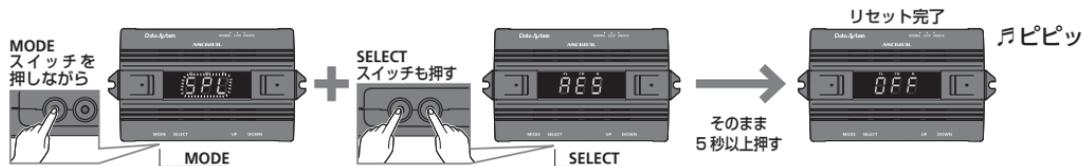


2. エンジンを始動する



エンジン始動

3. 「MODE」スイッチを押しながら「SELECT」スイッチを5秒以上押し続け、「ピピッ」音がしたらリセット終了



POINT

●リセットをおこなうと各設定値は出荷時の状態に戻ります。リセット後は必ず初期設定をおこなってください。

エアサスコントローラー本体の取り外し

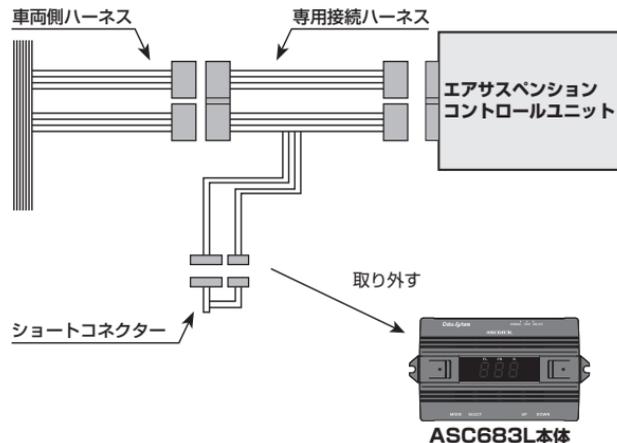
車両や製品の点検で本体を取り外す際は、同梱のショートコネクタを取り付けてください。

- 注意**
- 本体を取り外すときは、イグニッションオフ後6分以上経過してから作業してください。
 - ショートコネクタを取り付けずに走行すると、車両に異常警告が表示されます。

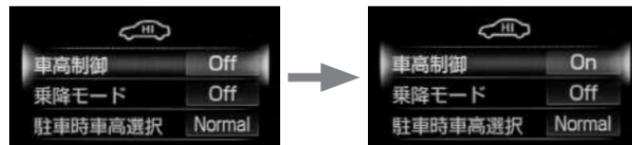
ショートコネクタを専用ハーネスに接続したら、エンジンを始動して、車高制御設定を確認します。車高制御設定が「Off」になっている場合は「On」に切り替えてください。車高制御設定の確認については、車両取扱説明書を参照してください。

- 注意**
- 車高制御設定が「Off」になっていると車高がノーマル状態に戻りません。

エアサスコントローラー本体取り外し



車高制御設定



マルチインフォメーションディスプレイ画面

故障かな？と思ったら

症状	確認してください
電源が入らない。 車両側警告ランプが点滅または点灯する。	●イグニッションキーをオフにして、本製品の専用接続ハーネスの接続状態、配線の噛み込みの有無などを確認してください。
車高設定が「3」より下がらない。	●「Std」モードになっていませんか？「SPL」モードに変更してください。(11ページ参照)
車高が左右で異なる。	●水平な場所で車高を設定しましたか？ ※左右で1～2cm程度の誤差が生じる場合がありますが、エアサスペンションの特性上から起こるもので故障ではありません。
車高が変化しない。	●トランク及び運転席以外の全てのドアが閉まっているかを確認してください。 ●車両の停止状態により車高の変化が抑制されてしまう場合があります。少し走行した後に車高が変化しているか確認してください。 ●車高を繰り返し変化させると、車高制御の保護機能が働き車高が一時的に変化しなくなる場合があります。イグニッションをオフにし、30分以上経過してから試してみてください。 ●1～2段階程度の車高設定の変更をおこなった場合は、エアサスペンションの特性上から車高が変化しない場合があります。 ●本製品で車高設定した際に車高が変化しない場合があります。そのときは少し走行した後に車高が変化しているか確認してください。
車高が勝手に変化していることがある。	●車両側の制御により車高が変化する場合があります。 ●1～2cm程度の車高変化が生じる場合がありますが、エアサスペンションの特性上から起こるもので、故障ではありません。
4輪全て同時に車高が変化しない。	●制御上の正常動作です。
乗降モードが動作しない。	●本製品をオンにすると乗降モードは「Off」の設定となります。乗降モードを使用する際は本製品をオフに設定してください。
車高選択スイッチを操作してエアサスコントロールの「オン」「オフ」操作を行っても「HIGHモード表示灯」が点滅しません。	●車両システムの動作状態により、点滅しない場合があります。車高選択スイッチ操作後の車高の状態は、必ず目視で確認してください。

症状	確認してください
本製品のスイッチ操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品のスライドスイッチが「NORMAL」位置または「LOCK」位置になっているとスイッチ操作ができません。「UNLOCK」位置にしてください。
走行中に車高が勝手に変化する	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品をオンの状態で走行している時、走行状態に応じて車高を変化させます。使用上の注意(7ページ参照)をお読みください。 ●純正の機能により、車両側エアサスコンピューターが走行状況に応じて自動的に車高を変化させる場合があります。
車高選択スイッチが操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●エンジン始動後などでの車両機能動作中、車両機能での車高変化中、本製品での車高変化中は車高選択スイッチは操作できません。 ●車高制御の設定がOffになっていると、車高選択スイッチの操作はできません。マルチインフォメーションディスプレイで車高制御をOnに切り替えてから車高選択スイッチの操作をおこなってください。 ●車高の上昇、下降を繰り返すと、車高制御の保護機能が働き、車両のシステムが一時的に作動しなくなることがあります。15分から30分位イグニッションオフの状態にしてください。それでも復帰しない場合はバッテリーのマイナス端子を一度外してください。
本製品の本体の表示が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●トランク、運転席ドアを開く前に他のドアが開くと、本製品の表示はできません。他のドアを閉じた状態でトランク、運転席ドアを開いてください。



ご相談窓口



お電話 086-486-0442

サービス (技術的なお問い合わせ・修理受付)

【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)



メールでのお問い合わせ(PC)

<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>



メールでのお問い合わせ(スマートフォン)

<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



Data System 株式会社 データシステム

<https://www.datasystem.co.jp/>

■ [本社] 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-2 ■ [倉敷支社] 〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-1-11

弊社に無断で本説明書の内容、図、写真の全部または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

※表紙の写真はイメージです。純正サイズ以外のタイヤ・ホイールを装着した車両には本製品を取り付けられないでください。

本取扱説明書は保証書と共に
大切に保管してください。

ASC683L-1906-AKN